

製品名: Tyro3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85973**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	96.2kDa

抗原情報

遺伝子名	Tyro3
別名	Tyrosine-protein kinase receptor TYRO3, Etk2/tyro3, TK19-2, Tyrosine-protein kinase DTK, Tyrosine-protein kinase RSE, Tyrosine-protein kinase TIF, Tyro3, Dtk, Rse, Tif
遺伝子 ID	22174.0
SwissProt ID	P55144
免疫原	この Tyro3 抗体は、組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

背景

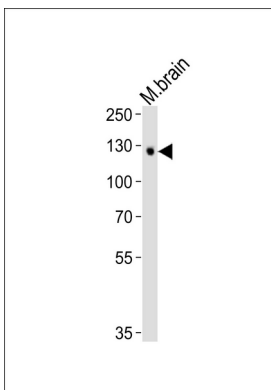
TULP1 や GAS6 などの複数のリガンドに結合し、細胞外マトリックスから細胞質へシグナルを伝達する受容体型チロシンキナーゼ。

細胞の生存、遊走、分化など、多くの生理学的プロセスを制御します。細胞表面でのリガンド結合は、下流のシグナル伝達分子のドッキング部位を提供する細胞内ドメインにおいて、TYRO3 の二量体化と自己リン酸化を誘導します。リガンドによる活性化後、PIK3R1 と相互作用し、PI3 キナーゼの活性を高めます。NF- κ B の核移行や NF- κ B 制御遺伝子の転写の上方制御など、AKT 生存経路を活性化します。TYRO3 シグナル伝達は、興奮毒性障害からのニューロン保護、血小板凝集、細胞骨格再構成など、さまざまなプロセスにおいて役割を果たします。また、STAT1 を活性化することで、サイトカインシグナル伝達抑制因子 SOCS1 および SOCS3 の生成を選択的に誘導し、Toll 様受容体 (TLR) を介した自然免疫応答の阻害にも重要な役割を果たします。

研究分野

-

画像データ



Tyro3 抗体を用いたマウス脳組織ライセートのウェスタンブロット解析。Tyro3 マウスモノクローナル抗体は 1:2000 に希釈した。二次抗体として、ヤギ抗マウス IgG H&L(HRP)抗体を 1:3000 に希釈したものを使用した。ライセート量は 20 μ g。